



【実施報告書】

海の祭 新規開拓（海の祭ismプロジェクト）



一般社団法人マツリズム

最終更新日：2019年1月31日

社団法人代表 大原学 34
（東京都渋谷区）

広野町で祭り笑顔戻る

JR常磐線の広野駅に降り立った時、何とも言えない静寂を感じた。津波の被害を受けた地域独特の、少し胸が苦しくなるような感覚。しかし数時間後、祭りの力で町は一変した。「わっしょい！わっしょい！」の掛け声。八年ぶりの神輿が上ると、人々が家から飛び出してくる。笑顔があふれ、静かだった町に彩りが広がる。

福島県広野町は、原発事故で六半年前まで緊急時避難準備区域に設定されていた。町内帰還者が八割に達した今年、鹿嶋神社に伝わ

ミラー

る浜下り神事が復活。昔から紡がれてきた人々の誇り、このにぎわいを、みんなずっと待っていた。地元の方の笑顔に触れ、思わず涙がこぼれてしまった。祭りの力って、すごい。今回縁があり、東京からボランティアとして参加させてもらい、ヨソ者ではあるけれど、その笑顔の中に一緒に居られることが本当にうれしかった。祭りのクライマックスは、浜下りだ。神輿を海に浸し厄を払うため、神輿ごと海の中に入る。すべてを受け止める、穏やかでとても

きれいな海。七年前、地元の人にとっては憎しみの対象であったかもしれない。しかし、恵みの海であることに変わりはない。お祭りは「非日常」だ。しかし今回はその意味合いが違った。日常があるからこそ非日常がある。日常があることの大切さを身をもって感じた。これからは、昔のままにはいかない事実に向面することもあるだろう。日常をどうやって守っていくのか。大切な文化をどうやって後世につないでいくのか。本当の勝負はこれからかもしれない。この大切なお祭りが今後もしも引き継がれていきますように。

2018年4月8日に、福島県広野町で、「鹿嶋神社浜下り神事」が震災から8年ぶりに行われた。マツリズムからは大原・岩楯が参加。

※感想記事は、6月1日の東京新聞にも掲載



【海の祭り開拓】松原神社例大祭（神奈川県小田原市）

2018年5月4日5日に神奈川県小田原市で行われた松原神社例大祭に、マツリズム大原が参加。地元の人との関係構築を行った。



【海の祭り開拓】佐島の秋祭り（愛媛県上島町）

2018年5月24日に、愛媛県上島町の「佐島の秋祭り」の担い手の方々とお会いし、課題感を含め、祭りの現状についてヒアリングを実施（祭り本番は10月中旬）。



【海の祭り開拓】佐島の秋祭り（愛媛県上島町）

5月に祭りの担い手に対してヒアリングを実施させていただいた、
佐島の秋祭りに参加（10月6日～8日）。

本来神輿を担ぐ人しか海に入れない中、今回特別に一緒に海に入らせてもらう。
大きい神輿がこの祭りの特徴・魅力であるものの、担ぎ手が不足しているという課題がある

